

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
保育所等訪問事業・にじいろバナナ		2025年 5月 29日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 ・ 運 営 ・ 体	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		・児童に応じた教具・教材を検討し提案しています。 ・教具、教材の貸出についてルール設定し、すべての支援児が使用できること、紛失や返品漏れがないよう提供しています。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・訪問支援員4人おり、児童の特性や児童、保護者、訪問先施設のニーズ等に合わせて担当を決めています。	
業 務 改 善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・定期的に症例検討を行い、支援内容を検討していますが、日々の支援終了後の振り返り(課題や成功体験等)を訪問支援員・多機能事業所の指導員を含めた話し合いの場を設け、参画を促しています。また、定期定期的に訪問担当を変更し、視点が偏らないようにしています。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・モニタリングや関係機関での会議などで、保護者などの意向についてフィードバックしています。	
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・定期的にミーティングを持ち、保護者・訪問先施設からの要望を話し合い対応方法の検討を行っています。 ・朝のスケジュール確認や支援終了後のミーティングなどを行い、その日の業務確認と業務改善点を話し合う機会を設けています。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		・今後、第三者による外部評価を行えるようにしていきます。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・訪問支援員と多機能事業所の指導員と会議や研修を通して、支援内容等を検討しています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		・基本情報、児童の状況を把握しアセスメントを行い、ニーズや課題についての支援内容を検討しています。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・児童発達支援管理責任者、訪問支援員、必要に応じて多機能事業所の指導員が情報共有し、保育所等訪問支援計画を作成しています。	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		・計画の立案前に、訪問施設や担任等と課題や強化したい部分を確認し、計画案へ反映させる内容を検討しています。また、計画書を関係機関へ説明し、意向があれば適宜追記しています。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・保育所等訪問支援計画に沿った支援を行い、達成度や新たなニーズや課題がある際は速やかに訪問支援計画の見直し、訪問支援員や関係機関等と情報共有しています。	
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・インフォーマルなアセスメントを活用し評価しているが、記入に時間がかかったり、質的評価のため訪問支援員の経験に左右されることがあります。	・アセスメントシートの内容を検討するとともに、質的評価のムラがないよう勉強会等を行い、アセスメントの安定性を図ります。
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		児童の特性や児童、保護者、訪問先施設のニーズにあわせ、直接支援・間接支援をガイドラインの具体例を参考にしながら行っています。	訪問支援員間での知識の偏りをなくするため、勉強会等を行っていきます。
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・保育所等訪問支援計画に沿った支援を行い、達成度や新たなニーズや課題がある際は速やかに訪問支援計画の見直し、訪問支援員や関係機関等と情報共有しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・訪問支援員の会議にて、児童の訪問内容等について検討し、役割分担を行っています。その日行われる訪問計画をホワイトボードで確認できるようにしています。	・その日行われる訪問計画が児童や学校等の都合で変更になった場合でも、速やかに訪問日や訪問支援員の変更等について検討し、対応しています。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・定期的に症例検討を行い、支援内容を検討していますが、日々の支援終了後の振り返り(課題や成功体験等)を訪問支援員・多機能事業所の指導員を含めた話し合いの場を設けています。		

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4			・学年・各クラスでの目標を確認し、その中で支援児の目標を立案できるようなシステムづくりを行っています。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		・支援内容をデイロポ（システム）に記録し、その日に保護者が閲覧でき、次回の訪問日や内容を記載しています。その後、訪問支援員と事業所の指導員にて振り返りを行っています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・保護者と訪問先の先生方を含めて、定期的に会議を開催し、情報共有を行い、児童の状況に合わせた支援内容等について検討しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者と訪問支援員が参画し、情報共有を行い、児童の状況に合わせた支援内容等について検討しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		児童発達支援管理責任者と訪問支援員が参画し、情報共有を行い、児童の状況に合わせた支援内容等について検討しています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・保育園での支援内容等が、就学時に活かせるよう、保護者や先生等と就学前に会議を開催し、情報共有と相互理解を図っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	・中部広域保育所等訪問支援連絡会（つなぐ）等にてできるだけ参加させていますが、事業所のサービス提供時間も重なり参加できない日もあります。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3		・今後、地域と情報交換しながら参加できるようにしていきます。 ・協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等の情報を集め、参加できるよう務めます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		デイロポ（システム）でその日の支援内容等をお伝えしたり、メールで保護者から児童の様子等をご報告を頂いています。また、モニタリング等にて、達成度や新たな課題等について共通理解できるよう努めています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		・今後、保護者、その家族等が参加できる研修の機会を設けていく予定です。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・利用計画書、重要事項説明書に沿って説明し、質問や相談等については適宜面談等を設けて説明しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		・児童のニーズや課題等を訪問先施設と情報共有し、訪問支援の目的等についての説明を行っています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・児童や保護者のニーズや課題等を、訪問先と情報共有を行い、訪問支援の必要性を確認した上で、育所等訪問支援計画を作成しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		・児童や保護者のニーズや課題等を、訪問先と情報共有を行い、訪問支援の必要性を確認した上で、保育所等訪問支援計画を作成しています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		・定期的な関係機関を含めた会議や保護者等からの相談については、速やかに面談やメールにて必要な助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1	・毎年1回、保護者会を開催し、交流する機会を設けているが、頻度を増やしていきたいと思っています。	・交流する機会の頻度を増やすことで、保護者やきょうだいの課題について意見交換する機会となるよう努めています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・児童や保護者等の都合で訪問日程の変更等の申入れがあった場合は、速やかに訪問先と相談の上、日程変更を行い対応しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		・HPやSNS等を活用し、活動概要や実績等について情報を発信していきたいと思っています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報の取り扱いに十分留意しています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・デイロポ（システム）にてその日の児童の体調や様子、支援内容を写真を含め報告しています。その日の夕方以降には閲覧できるため時差がなく児童の様子を報告することができます。また、必要時は対面・電話にて詳細を説明しています。	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		・訪問支援後にフィードバックを行うように努めていますが、難しい場合は月1回、必要な助言や支援について書面にて交付しています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		・訪問支援後にフィードバックを行うように努めていますが、難しい場合は月1回、必要な助言や支援について書面にて交付しています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		・毎回の支援内容をデジロボに記録し、その日に保護者が閲覧でき、次回の訪問日や内容を記載しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報の取り扱いに十分に留意しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		・なぜそのような行動をとってしまうのか、なぜ難しいのか、どう配慮すればできるようになるかなど、課題の状況を分析し専門的な見解をお伝えすることで、児童へ理解を促すよう努めています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・策定し、事業所の玄関先に掲示しています。また、発生を想定した訓練は訪問先では実施できていません。	・今後はホームページやSNS等を活用し、周知していきます。また、訪問先施設の訓練内容（避難方法・避難先等）も把握できるようにしていきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を事業所にて行っています。	・今後は訪問先施設の安全計画に順守できるよう、情報収集を行っていきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハットが起きた場合は速やかに報告書に記載し、会議にて対策について検討しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・研修を行い、適切な対応を意識し、支援しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		・これまで対象児童はいません。	